

<公立能登総合病院 能登認知症疾患医療センター様>

上映日:2018/12/15(土) 場所:サンビーム日和ヶ丘(石川県七尾市)



“支援者が元気になれる研修会”を目指しケアニン上映会を企画しました。

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

開業医から「地域で暮らしている方をケアしている支援者が元気になれる研修会をしてほしい」との提案をいただき、ケアニンの映画上映会を企画しました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

公立能登総合病院 能登認知症疾患医療センタースタッフで運営・企画しました。

●協力の得られた団体はありましたか？

これまで何年も認知症カフェを共同企画している機関にも企画の相談をし、映画上映会と共に、若年性認知症の当事者でもある押し花作家の川端信子さんからケアニンへメッセージをいただきました。七尾市地域包括支援センターの方にご支援いただき、発表スライドの作成や当日のサポートを協力してもらいました。

●資金はどのように捻出しましたか？

認知症疾患医療センターの役割でもある「認知症及び認知症ケアの普及啓発」の一環として開催したので、費用負担は公立能登総合病院能登認知症疾患医療センターが出しています。

●地域へどのように告知をしましたか？

これまで石川県の認知症対策に関わる事業で何度も研修を開催してきましたので、能登全域の介護・医療・行政機関等に郵送にて案内と申込書を送付したり、ポスターの掲示をお願いしたりしました。また、認知症カフェや介護事業所の連絡会等にて告知したり、病院の情報誌での紹介やローカルテレビでの文字放送も行ったりしました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

参加されたケアニンの方々から、「元気をもらえました」「この仕事を頑張っていると思えました」「大泣きして、まんまと研修目的通りに元気になりました」との感想を寄せてもらいました。

●地域の方々と繋がったエピソードがあれば教えてください。

実は1回目の企画が9月1日に「あおいけあ」の加藤さんをお招きして開催予定でしたが、前日の能登豪雨(全国ニュースにも出ました)で会場が避難所になったこともあり、やむなく中止に。どうしてもケアニンの皆さんにこの映画を観ていただきたいと再び12月15日に再企画しました。観ていただいた方々からの感想で企画側も元気をもらいました。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

ぜひこの映画をたくさんのケアニンにお届けいただき、「人が生きる」ことに携わることへの情熱と素晴らしさへの気づきになりますように願います。

ご担当者：
精神保健福祉士 田辺めぐみさん

公立能登総合病院能登認知症疾患医療センター
石川県の指定を受け、県内3カ所目の認知症疾患医療センターとして能登全域の認知症治療とケアを支援している。